

年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 論理国語

教科: 国語 科目: 論理国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組～5組

教科担当者:

使用教科書: (「論理国語」大修館書店)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>単元【第1部】1 世界・言葉・私</p> <p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えること。</p>	<p>・指導事項 筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。</p> <p>・教材「世界を広げる『批評』の言葉」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			○	○	○	○	3	
<p>単元【第1部】1 世界・言葉・私</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、対話についての理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとすること。</p>	<p>・指導事項 語の定義や対比を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。日本の文化の特徴をふまえつつ、対話についての理解を深める。</p> <p>・教材「対話の精神」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			○	○	○	○	3	

<p>単元【第1部】8 グローバル化の先へ</p> <p>【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、調べたことをレポートにまとめようとする。</p>	<p>・指導事項 目的を明確にして、適切な引用を行う。多様な方法で情報を収集し、効果的な構成を考えて書く。 ・教材「調べたことをレポートにまとめる」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。[(1)エ] ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。[A(1)ア] ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。[A(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>
<p>単元【第1部】1 世界・言葉・私</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、言葉そのものに厳密に向き合おうとすること。</p>	<p>・指導事項 身近な言葉について、他者にもわかるように定義する。言葉の意義や機能について理解を深める。 ・教材「言葉を定義する」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・定義を考えることから、言葉が言葉そのものの働きを表すことを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、定義を考えるための情報の信頼性や妥当性について適切な判断をしながら、客観化・相対化をして明確に考えている。[A(1)イ、エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉そのものに厳密に向き合おうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>単元【第1部】2 芸術と文化</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえること。</p>	<p>・指導事項 比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。 ・教材「ミロのヴィーナス」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。[B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>

<p>単元【第1部】2 芸術と文化</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。「美」についての筆者の主張をとらえ、自分の考えを深める。</p> <p>・教材「余白の美学」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。〔(1)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕</p> <p>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元【第1部】2 芸術と文化</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張と支える適切な根拠をそろえること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、単元の学習を生かして、具体と抽象を意識して、説明文を書こうとする。</p>	<p>・指導事項 的確に伝わるように具体的に書いたり抽象的に書いたりする。</p> <p>・教材「具体的／抽象的に書く」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。〔(1)ウ〕</p> <p>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。〔A(1)オ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書こうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>単元【第1部】3 共同体のいま</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 統計資料や事例と筆者の主張との関係をとらえる。社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。</p> <p>・教材「家族化するペット」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。〔B(1)イ〕</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>				○	○		1

<p>単元【第1部】3 共同体のいま</p> <p>【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとする。</p>	<p>・指導事項 グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。日本社会の特徴について、理解を深める。</p> <p>・教材「統計資料から分析したことを書く」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料を根拠として読み手に納得してもらうための文章の構成について、理解を深めている。〔(1)エ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。〔A(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書いている。〔A(1)イ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	4
<p>単元【第1部】4 科学の可能性</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 論理の展開を的確に押さえ、筆者の主張をとらえる。科学技術の進歩と人間の本质について、考えを深める。</p> <p>・教材「自己をモデル化する知能」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。〔(1)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2
<p>単元【第1部】4 科学の可能性</p> <p>【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して、内容を解釈すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、表や具体例の作成などの学習課題に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 具体例をふまえて、筆者の主張をとらえる。人工知能の歴史と現状、その特徴についての的確に読み取る。</p> <p>・教材「人工知能の可能性と異」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の接続詞の役割や語句について理解している。〔(1)イ〕</li> <li>・本文の具体例と主張の関係、本文記述と表の対応関係について理解している。〔(2)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、本文の具体例、論拠を押さえた上で、結論について理解している。〔B(1)ウ〕</li> <li>・「読むこと」において、本文全体の構成を読み取り、論理の展開のしかたを理解している。〔B(1)エ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に、表や具体例の作成などの学習課題に取り組んでいる。</li> </ul>	○ ○ ○	3
<p>単元【第1部】4 科学の可能性</p> <p>【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、ワークシートなどの学習課題に取り組み、意見文執筆に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 主張と根拠をとらえ、的確に要約する。立場を明確にし、根拠を示しながら自分の意見を書く。</p> <p>・教材「立場を明確にして書く」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書くために必要な論の構成を理解している。〔(1)エ〕</li> <li>・筆者の主張とその根拠をとらえている。〔(2)ア〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、筆者の主張と根拠を押さえた要約をしている。〔A(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、自身の主張と、それに対する根拠を書き出している。〔A(1)イ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に、ワークシートなどの学習課題に取り組み、意見文執筆に取り組もうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2

2  
学  
期

<p>単元【第1部】5 日本語の多様性 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	<p>・指導事項 敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 ・教材「敬語への自覚、他者への自覚」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>				○	○		1
<p>単元【第1部】5 日本語の多様性 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	<p>・指導事項 筆者の方言に対する視点や分析のしかたを的確にとらえる。方言と社会の変容との関係に興味をもち、探究する。 ・教材「『方言コスプレ』現象」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	○	○	○	3

<p>単元【第1部】5 日本語の多様性</p> <p>【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。</p>	<p>・指導事項 集めた情報を観点に応じて整理・分類する。</p> <p>・整理・分類した情報をもとに、自分の考えを書く。</p> <p>・教材「情報を集めて分類する」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。</p> <p>〔2〕イ</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。〔A(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。</p>	○ ○ ○	3
<p>単元【第1部】6 思考の枠組み</p> <p>【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとすること。</p>	<p>・指導事項 実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、もの見方を広げる。</p> <p>・教材「スキーマと記憶」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。〔2〕ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。〔B(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	○ ○ ○	3
<p>単元【第1部】6 思考の枠組み</p> <p>【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとすること。</p>	<p>・指導事項 エピソードや具体例の役割に注意し、本文と図版を関係づけて読む。絵を見る方法を的確に読み取り、もの見方を広げる。</p> <p>・教材「絵を見る技術」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔1〕エ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。〔B(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。</p>	○ ○ ○	3
<p>定期考査</p>				○ ○	1

	<p>単元【第1部】7 社会の原点</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、本文と図版を関係づけて読むことをとおして、学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	<p>・指導事項 論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。</p> <p>・教材「社会的実在としての言語・法・貨幣」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。〔(1)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	3
3 学 期	<p>単元【第1部】7 社会の原点</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、本文と図版を関係づけて読むことをとおして、学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 学説を引きながら論述する文章を読み、主張をとらえる。食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。</p> <p>・教材「分かち合う社会」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。〔(1)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	5

<p>単元【第1部】7 社会の原点</p> <p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、意見交換のポイントを意識しつつ、積極的に他者と意見交換をしようとする。</p>	<p>・指導事項 主張と根拠の関係や叙述の適切さなどを吟味する。他者からの指摘を受けて、自分の文章を改善する。</p> <p>・教材「意見を交流する」 一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>〔A(1)オ〕 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔A(1)カ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、意見交換のポイントを意識しつつ、積極的に他者と意見交換をしようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>単元【第1部】8 グローバル化の先へ</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。</p> <p>・教材「心に『海』を持って」 一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>				○	○		1
合計							70



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語演習

教科：国語 科目：文学国語演習 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（「標準文学国語」第一学習社）

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】近現代のすぐれた文学的な文章に触れ、言語能力を磨き、知識と教養を身につけ、読書の効用を理解する。  
 【思考力、判断力、表現力等】描写や表現に注意し内容の理解を深め、文学的な文章を書く能力を身につける。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①情景や心情を表す語彙を増やし文学的な表現技法を理解する。 ②文学的な文章から我が国の言語文化を理解する。 ③ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義を理解する。	【書くこと】 文学的な文章を書くための能力を身につける。 【読むこと】 構成、展開、描写、表現に注意し内容を解釈し、社会や人間への見方、考え方を深める。	文学的な文章について、積極的に読書活動に取り組み、興味関心を深める。学習の課題に沿って、粘り強く取り組み、表現能力の向上につとめ、身に付けた能力で表現活動に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・劇	書	読					
A 単元「現代の小説」 【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 文学的文章の文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために選んだ題材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、作品に関連する事項を調べ、課題に取り組む。	・指導事項 ・教材 「調理師のみ子さん／いしいしんじ」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。 【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、積極的に課題に取り組む。	○	○	○	5
B 単元「現代の詩」 【知識及び技能】 現代詩の構成や比喩に着目して読み、作者の社会や他者への捉え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を捕える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 象徴的な表現や表現上の工夫を読み取りそこに込められた心情を理解し課題に取り組む。	・指導事項 ・教材 「生命は／吉野弘」「食事／高階柁一」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代詩の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。 【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 象徴的な表現や表現上の工夫を読み取りそこに込められた心情を理解し、積極的に課題に取り組む。	○	○	○	4
定期考査	実施せず				定期考査は実施せず、課題提出やグループワーク等により評価する。				
1 学 期 C 単元「現代の小説」 【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 文学的文章の文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために選んだ題材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、作品に関連する事項を調べ、課題に取り組む。	・指導事項 ・教材 「旅する本／角田光代」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。 【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、積極的に課題に取り組む。	○	○	○	6
D 単元「随想〈芸術〉」 【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 絵画を紹介する文章を読み読み手をひきつけるための工夫を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、選んだ素材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術作品を紹介する文章における表現の工夫や構成を理解し、それを活かして課題に取り組む。	・指導事項 ・教材 「真珠の耳飾りの少女／原田マハ」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。 【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術作品の紹介の文章について、読み手に伝わるように表現、構成を工夫し課題に取り組むことができる。	○	○	○	5
定期考査	実施せず				定期考査は実施せず、課題提出やグループワーク等により評価する。				

<p>E 単元「近代の小説」</p> <p>【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 文学的文章の文体の特徴や表現の技法を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために選んだ題材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、作品に関連する事項を調べ、課題に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「ころ／夏目漱石」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、積極的に課題に取り組む。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>F 単元「戦争と文学」</p> <p>【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 文学的文章の文体の特徴や表現の技法を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために選んだ題材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。小説の背景を理解し、戦争と人間との関わりを小説から読み解く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、作品に関連する事項を調べ、課題に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「バグダッドの靴磨き／米原万里」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、積極的に課題に取り組む。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>8</p>
<p>2 学 期 定期考査</p>	<p>実施せず</p>	<p></p>	<p>定期考査は実施せず、課題提出やグループワーク等により評価する。</p>	<p></p>	<p></p>
<p>G 単元「近代の小説」</p> <p>【知識及び技能】 現代語の基礎的な語彙を習得する。 文学的文章の文体の特徴や表現の技法を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために選んだ題材に応じて情報収集し読み手の関心を得られるように表現できる。 「読むこと」において、構成や展開、表現の仕方に注意し、ものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、作品に関連する事項を調べ、課題に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「室生犀星／幼年時代」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 文学的文章の表現技法や心情の機微を表す表現についての語彙を豊かにしている。 現代語の小テストを毎週実施。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 「書くこと」において、文学的文章を書くために情報を集め、表現している。 「読むこと」において、構成、展開描写を踏まえて、内容を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情を理解し、積極的に課題に取り組む。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>



年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第2学年 1組~ 5組  
 教科担当者:  
 使用教科書: (「高等学校 精選 古典探究」第一学習社)  
 教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話 聞	書 読	読					
<p>単元 【第1部】説話(一)</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。</p> <p>・教材 「小式部内侍が大江山の歌の事」(十訓抄)</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>				<p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</p> <p>・古典の作品に表れている、修辭の特色について理解を深めている。(1)エ)</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。(A1)ア)</p> <p>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A1)イ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。</p> <p>・和歌の修辭について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。</p>				2
<p>単元 【第1部】説話(一)</p> <p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとする。</p>	<p>・指導事項 説話という文章の種類に注意して、展開や内容を的確に捉える。</p> <p>・教材 「歌ゆゑに命を失ふ事」(沙石集)</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>				<p>【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉えている。(A1)ア)</p> <p>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A1)イ)</p> <p>○ 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の展開について評価している。(A1)ウ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとしている。</p> <p>・助動詞「き」「けり」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。</p>				2

<p>単元 【第1部】説話(一)</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとする</p>	<p>・指導事項 『古今著聞集』の「小式部内侍が大江山の歌の事」に関連させて、著名な歌人である母和泉式部と小式部内侍との親子関係を調査する。</p> <p>・教材「小式部内侍と和泉式部」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			<p>【知識・技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2エ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。</p> <p>・集めた作品の内容を解釈し、小式部内侍と和泉式部の親子関係について考えたことを積極的に説明しようとしている。</p>	○ ○ ○	2
<p>単元 【第1部】故事・寓話</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとする</p>	<p>・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。</p> <p>・教材「推敲・呉越同舟・嬰逆鱗・知音」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			<p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ア)</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2ア)</p> <p>・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2イ)</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。(2ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</p> <p>・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。</p>	○ ○ ○	3
<p>定期考査</p>					○ ○	1

<p>単元【第1部】随筆（一）</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、随筆に表れた作者の考えを読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとする</p>	<p>・指導事項 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。</p> <p>・教材「徒然草」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</li> <li>・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。(1)エ)</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> <li>・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</li> <li>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</li> <li>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</li> <li>・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。</li> <li>・作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方、考え方に対して理解を深めようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
---	--	--	--	--------------	----------

<p>単元【第1部】随筆（一）</p> <p>【知識及び技能】          古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。</p>	<p>・指導事項 鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。</p> <p>・教材「方丈記」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>								<p>3</p>
---	---	--	--	--	--	--	--	--	----------

【知識・技能】

- ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ア)
- ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1イ)
- ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。(1エ)
- ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めている。(2ア)
- ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2イ)

【思考・判断・表現】

- ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)
- ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)
- ・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)
- ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)
- ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)
- ・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。
- ・文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。

<p>単元【第1部】随筆(一)</p> <p>【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、『方丈記』の表現の特色を分析しようとしている。</p>	<p>・指導事項 鴨長明『方丈記』の表現について分析したうえで、無常観という観点で兼好法師『徒然草』と比較をする。</p> <p>・教材「無常観の表現」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</li> <li>・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ)</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めている。(2)ア)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> <li>・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</li> <li>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</li> <li>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</li> <li>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</li> <li>・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</li> <li>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)ク)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に『方丈記』の表現の特色を分析しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、『方丈記』と『徒然草』を読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>単元【第1部】古代の史話</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。</p>	<p>・指導事項 史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。</p> <p>・教材「背水之陣」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)</li> <li>・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>2</p>



<p>単元【第1部】古代の史話</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、「背水之陣」と『史記』『淮陰侯列伝』とを粘り強く読み比べ、韓信の戦略の背景を整理しようとする。</p>	<p>・指導事項 韓信の伝記を記した『史記』『淮陰侯列伝』を読み、教科書本文では省略されている韓信が「背水之陣」という戦略をとるに至った背景を捉える。</p> <p>・教材「韓信の戦略」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</p> <p>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</p> <p>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)ク)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「背水之陣」と『史記』『淮陰侯列伝』とを粘り強く読み比べ、韓信の戦略の背景を整理しようとしている。</p>	○ ○ ○	3
<p>定期考査</p>				○ ○	1
<p>単元【第1部】物語(一)</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、内容を捉えようとする。</p>	<p>・指導事項 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。</p> <p>・教材「伊勢物語」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</p> <p>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。</p> <p>・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。</p>	○ ○ ○	5
<p>単元【第1部】物語(一)</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、『伊勢物語』の惟喬親王関連の資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとする。</p>	<p>・指導事項 『伊勢物語』の惟喬親王関連の章段を複数読み比べることで、在原業平をモデルとした右馬頭と惟喬親王との主従関係を考える。</p> <p>・教材「主従の愛」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</p> <p>・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、『伊勢物語』の惟喬親王関連の資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。</p> <p>・集めた資料の内容を解釈し、読後感の違いについて考えたことを積極的に発表しようとしている。</p>	○ ○ ○	2

<p>単元【第1部】項羽と劉邦  <b>【知識及び技能】</b>          古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとする。</p>	<p>・指導事項 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。          ・教材「鴻門之会」          ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			<p><b>【知識・技能】</b>          ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)          ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)          ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ)  <b>【思考・判断・表現】</b>          ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)          ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)          ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          ・各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。</p>				4
<p>単元【第1部】項羽と劉邦  <b>【知識及び技能】</b>          古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、積極的に史伝を読み、追い詰められていく項王の心境を捉えようとする。</p>	<p>・指導事項 追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。          ・教材「四面楚歌」          ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			<p><b>【知識・技能】</b>          ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)          ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)          ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ)  <b>【思考・判断・表現】</b>          ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)          ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)          ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          ・積極的に史伝を読み、追い詰められていく項王の心境を捉えようとしている。          ・「四面楚歌」と「鴻門之会」とを粘り強く読み比べ、それぞれに描かれた項王の人物像の違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。</p>				3

<p>単元【第1部】項羽と劉邦</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、「高祖本紀」の記述から、劉邦の人柄を積極的に読み取ろうとすること。</p>	<p>・指導事項 劉邦の伝記である「高祖本紀」から、項羽とは対照的な劉邦の人柄を読み取る。</p> <p>・教材「劉邦の人物像」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</li> <li>古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</li> <li>古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)ク)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「高祖本紀」の記述から、劉邦の人柄を積極的に読み取ろうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2
<p>定期考査</p>				○ ○	1
<p>単元【第1部】物語(二)</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとする。</p>	<p>・指導事項 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。</p> <p>・教材「源氏物語」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</li> <li>古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。</li> <li>内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	5
<p>単元【第1部】物語(二)</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、「光る君誕生」の続きや光源氏の官職と治的立場を、進んで調べようとする。</p>	<p>・指導事項 桐壺の更衣と弘徽殿の女御との軋轢を、後宮と政治とのつながりに留意し、更衣の最期や、光源氏の政治的立場を調査し、その成果をまとめたり発表したりする。</p> <p>・教材「『源氏物語』と政治」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</li> <li>関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、「光る君誕生」の続きや光源氏の官職と治的立場を、進んで調べようとしている。</li> <li>集めた資料の内容を解釈し、わかったことを積極的にまとめようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2

<p>単元【第1部】漢詩の鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとすること。</p>	<p>・指導事項 漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。</p> <p>・教材「中国の詩」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ)</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)</li> <li>・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> </ul> <p>○ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>

	<p>単元【第I部】物語(三)</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとする。</p>	<p>・指導事項 軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。</p> <p>・教材「平家物語」 一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</li> <li>・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。(1)エ)</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> <li>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</li> <li>・文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混淆文の特色について理解を深めようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	5
3 学 期	<p>単元【第I部】物語(三)</p> <p>【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、学習課題に沿って、時間の経過による言葉の変化について理解を深めている。</p>	<p>・指導事項 教科書に収録されている『平家物語』を天草版『平家物語』と比較して、言葉の違いや変遷などについて考えを深める。</p> <p>・教材「もう一つの『平家物語』」 一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</li> <li>・時間の経過による言葉の変化について理解を深めている。(2)ウ)</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</li> <li>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)</li> <li>・関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、時間の経過による言葉の変化について理解を深めている。</li> <li>・覚一本と天草版の言葉の使い方や表現を比較し、違いを積極的にまとめようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2

<p>単元【第Ⅰ部】諸家の思想</p> <p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、儒家と道家についての解説文を参照しつつ、『論語』と『老子』とを粘り強く読み比べ、両者の思想の共通点と相違点を説明しようとする。</p>	<p>・指導事項 儒家と道家について解説した文章を参照しつつ、『論語』と『老子』の本文を読み比べ、両者の思想の共通点と相違点を捉える。</p> <p>・教材 「読み比べる・論語と老子」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>○</p> <p>【知識・技能】 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(A(1)エ)</p> <p>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</p> <p>・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(A(1)キ)</p> <p>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)ク)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・儒家と道家についての解説文を参照しつつ、『論語』と『老子』とを粘り強く読み比べ、両者の思想の共通点と相違点を説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>
<p>単元【第Ⅰ部】諸家の思想</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとする。</p>	<p>・指導事項 『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。</p> <p>・教材 「孟子」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>○</p> <p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ)</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</p> <p>・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ)</p> <p>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>

<p>単元【第1部】物語(二)</p> <p>【知識及び技能】          古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとする。</p>	<p>・指導事項 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。</p> <p>・教材「大鏡」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ア)</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2イ)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア)</li> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ)</li> </ul> <p>○ 必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開について評価している。(A(1)ウ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。</li> <li>・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>合計</p> <p>70</p>				

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科：地理歴史科 科目：歴史総合 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（明解 歴史総合（帝国書院））  
 教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想し、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 歴史の扉 【知識及び技能】 諸事象が歴史とつながっている事や、様々な資料の特性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史への関心や学習に対する主体性を身につけさせる。	・指導事項 歴史と私たち 歴史の特質と資料 ・教材 プリント・歴史総合ノート 一人1台端末の活用 Teamsを利用した課題提出	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 様々な資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や身近な地域などに見られる諸事象が、時間的な推移や空間的な結び付きの中で歴史とつながっていることに関心を持って学習しようとしている。	○	○	○	4
	B 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀のアジアや日本の経済と社会、世界とのつながりについて関心を持たせる。	・指導事項 近代化への問い 18世紀のアジアと江戸幕府 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ・教材/端末の活用 同上	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 様々な資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や身近な地域などに見られる諸事象が、時間的な推移や空間的な結び付きの中で歴史とつながっていることに関心を持って学習しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 ・欧米の市民革命について理解させる。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界市場の形成の過程を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 イギリス革命・アメリカ独立革命・フランス革命・産業革命 ・教材/端末の活用 同上	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 様々な資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や身近な地域などに見られる諸事象が、時間的な推移や空間的な結び付きの中で歴史とつながっていることに関心を持って学習しようとしている。	○	○	○	5
	D 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 ・国民統合の動向を基に、政治分野における近代化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	・指導事項 1848年革命（諸国民の春） イタリア・ドイツの統一 ロシアの近代化 アメリカの拡大 第2次産業革命・帝国主義 ・教材/端末の活用 同上	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが歴史とつながっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
E 近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり	・指導事項 アヘン戦争・日本の開国 新政府の誕生・日清戦争 日露戦争 ・教材/端末の活用 同上	【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	6	



<p>関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究させる。</p>		<p>欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>				
--	--	---	--	--	--	--

2 学 期	F 第1次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取らせる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	・指導事項 第1次世界大戦 ロシア革命 ・教材／端末の活用 同上	【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	G 国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 政治・社会・文化の変化について、資料を読み取らせる。 【思考力、判断力、表現力等】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	・指導事項 ヴェルサイユ体制 民族自決のゆくえ 大衆社会 ・教材／端末の活用 同上	【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
H 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦争とマスメディアの関わりに着目させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	・指導事項 世界恐慌・ファシズムの台頭 満州事変・日中戦争 第2次世界大戦 ・教材／端末の活用 同上	【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（公共 実教出版）  
 教科 公民

単位数：2 単位

の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 社会を作る私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青年期における意義を身に付けることができる。</li> <li>・ 伝統や文化、社会とのかかわりについて基本的な知識を身に付けることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の生活の中で伝統文化に由来するものにはどのようなものがあるかあげることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らのキャリア形成について考察し、追及することができる。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>① 青年期</p> <p>② 自己形成の課題</p> <p>③ 職業生活、伝統</p> <p>・ 教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会に参画する自立した主体とは、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>B 人間としてよく生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 哲学者たちが追求した理想的な人間の生き方について基本的な知識を身に付けることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近代ヨーロッパで生まれた、科学的な考え方は、社会に与えた影響について表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張について追及することができる。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>① 古代ギリシアの人間観</p> <p>② 科学と人間</p> <p>③ 社会を作る人間</p> <p>・ 教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択・判断の手掛かりとなる考え方について多面的・多角的に考察し、説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間と社会のあり方について、選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
<p>C 他者とともに生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の幸福や利益の追求と、社会全体の幸福や利益の増進の対立といった問題について、功利主義の思想家たちの考え方を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰結主義と義務論の考え方の違いについて表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の正義をめぐる議論について探求することができる。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>① 人間と幸福</p> <p>② 公正な社会をめざして</p> <p>・ 教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の幸福と社会の幸福の調和をめざした、功利主義の思想家の考え方を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現実社会における不公正の問題について、協働的に考察し、適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3

期	D 民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現実社会における差別や偏見の問題を具体的な事例を通じて、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世代間の正義にかかわる問題について、具体的な事例を通じて探求することができる。	・指導事項 ①人の尊厳と平等 ②自由・権利と責任・義務 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について探求しようとしている。	○	○	○	3
	E 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 ・近代の市民革命によって政治のあり方はどのように変化したのか理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法の支配の考え方について理解し、自分の言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・異なる個人の意見をどのように政治に反映させるべきか探求することができる。	・指導事項 ①民主政治の成立 ②民主政治の基本原則 ③世界の主な政治制度 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整し、相互の協働のもとで共通の利益の実現をめざすことが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関係における合意を政治的にかかして形成することができるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間に生き国民民主権を担う公民としての自覚を基に、民主政治のしくみと課題について主体的に追究し、意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	F 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成立の経過や基本原理について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・憲法で保障されているさまざまな権利がどのように定められたか考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人権と人権が衝突した場合、どのように調整すべきなのか探求することができる。	・指導事項 ①日本国憲法の成立・性格 ②自由権・平等権 ③公共の福祉 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	G 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 ・国会、内閣、裁判所の役割や権限について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の選挙制度にはどのような特徴と課題があるのか探求することができる。	・指導事項 ①政治機構と国会 ②裁判制度 ③選挙制度 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・資源の効率的な配分などについて、効率性と公平性の観点から多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	H 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・商品の価格はどのようなしくみで決められているのか理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・財政や租税の持つ様々な役割について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・納税者としての立場から租税の在り方について探求することができる。	・指導事項 ①市場のしくみ ②金融、日本銀行の役割 ③財政と租税 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・財政及び租税の役割、市場経済の機能と限界などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財政及び租税の役割、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9

	<p>定期考査</p> <p>I 日本経済の特質と国民生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済はどのように成長してきたのか理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場環境や労働者の諸権利に関して、どのような課題があるのか探求することができる。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①日本経済の成長と課題</p> <p>②消費者問題</p> <p>③労働問題</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたりする役割を政府などが担っていることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の状況や消費者の権利と責任などについて、自由と義務の観点から整理し、自分の意見をまとめ、適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、消費者の権利と責任、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○		1
	定期考査			○	○		1
	<p>J 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際政治や国際法とはどのようなものか理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民族をめぐる対立は、なぜ生じるのか考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難民や国内避難民について主体的に追究して、その支援等に寄与することができるかなど、意欲的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①国際社会と国際法</p> <p>②国際連合</p> <p>③人種・民族問題</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際政治や国際法はどのようなものなのか、国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
3 学 期	<p>K 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果、世界はこれまで以上に緊密化したことを理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の動向はどのように変化しているのか資料に基づいて考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国為替市場における需要と供給の関係を探求することができる。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①貿易と国際収支</p> <p>②外国為替市場のしくみ</p> <p>③国際経済のつながりと課題</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界経済がより緊密に結び付き、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察し、それを表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科: 数学 科目: 数学Ⅱ 単位数: 4 単位  
 対象学年組: 第2学年 1組~ 5組  
 教科担当者:  
 使用教科書: (東京書籍 数学Ⅱ standard )  
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して考察を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする【学びに向かう力、人間性等】る態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 多項式・分数式の計算 【知識及び技能】 ・3次の乗法公式及び因数分解の公式・二項定理を活用できること。 ・分数式の計算ができること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多項式の除法や分数式の四則演算の方法について数の計算と関連付けて、多面的に考察させること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・3次の乗法公式及び因数分解の公式、パスカルの三角形や二項定理に関心をもたせること。	・指導事項 ○ 多項式の乗法と因数分解、二項定理 ○ 多項式の除法 ・教材 ○ 東京書籍 数学Ⅱ standard ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 ・3次の乗法公式及び因数分解の公式を用いて計算することができる。 ・二項定理を活用して、整式の一般項を求めることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考察することができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について数の計算と関連付けて、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考えようとしている。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について数の計算と関連付けて、考えようとしている。	○	○	○	12
B 2次方程式 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができること。 ・2次方程式の解の公式や判別式を理解し、2次方程式の解を求めたり、解の判別ができること。 ・解と係数の関係を用いて、2次方程式の解の和や積などを求めることができること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を用いて、 $i^2 = -1$ であることを確かめられること。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察できること。 ・2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考察し、表現できること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複素数の四則計算について複素数の性質を活用させること。 ・複素数の必要性や意味を考えさせること。 2次方程式の解と係数の関係にはどのような関係があるのかを考えさせること。	・指導事項 ○ 複素数とその計算 ○ 解の公式 ○ 解と係数の関係 ・教材 ○ 東京書籍 数学Ⅱ standard ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができる。 ・2次方程式の解の公式や判別式の意味を理解し、2次方程式の解を求めたり、解を判別したりすることができる。 ・解と係数の関係を用いて、2次方程式の解の和や積などを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・複素数の四則計算について考察することができる。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察することができる。 ・2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数の四則計算について複素数の性質を活用して、考えようとしている。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考えようとしている。 ・2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考えようとしている。	○	○	○	15
1 学期 定期考査			○	○		1

<p>C 高次方程式</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剰余の定理や因数定理を用いて、多項式の因数分解や除法における余りを求められること。</li> <li>・因数定理や因数分解を利用して、高次方程式が解けること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数定理を多項式の除法と関連付けて考察させること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数定理を多項式の除法と関連付けて考えさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>○ 因数定理と簡単な高次方程式</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剰余の定理や因数定理を理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。</li> <li>・因数定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数定理を多項式の除法と関連付けて考察することができる。</li> <li>・高次方程式を利用して具体的な問題を解決することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数定理を多項式の除法と関連付けて考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	11
<p>D 恒等式・不等式の証明</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等式について理解を深めさせ、恒等式となるような値を求められること。</li> <li>・不等式の証明の仕方を理解させること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等式が恒等式であるための条件を考察させること。</li> <li>・等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができるようにすること。</li> <li>・相加平均と相乗平均の関係を利用して、不等式が成り立つことを証明することができるようにすること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式が成り立つことを証明しようとする。</li> <li>・整数を代入して、相加平均と相乗平均の関係が成り立つことを確かめようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>○ 恒等式</li> <li>○ 不等式の証明</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等式について理解を深め、恒等式となるような値を求められることができる。</li> <li>・不等式の性質を用いた不等式の証明の仕方について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等式が恒等式であるための条件を考察することができる。</li> <li>・等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。</li> <li>・相加平均と相乗平均の関係を利用して、不等式が成り立つことを証明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な方程式と対比させて、等式が恒等式であるための条件を考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 点と直線</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上の点について理解し、2点間の距離を求められること。</li> <li>・数直線上における線分及び座標平面上における線分について、内分・外分する点及び座標が求められること。</li> <li>・点と直線の距離について理解し、その長さを求められること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上における線分及び座標平面上における線分について、内分・外分する点及び座標を考察させること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件を用いて、平面上の直線の方程式を求めたり、点と直線の距離を求めようとする。</li> <li>・座標平面上の図形について、方程式を活用して、図形の性質について証明しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>○ 2点間の距離</li> <li>○ 内分点・外分点</li> <li>○ 直線の方程式</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上の点について理解し、2点間の距離を求められることができる。</li> <li>・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標を求められることができる。</li> <li>・与えられた条件を用いて、平面上の直線の方程式を求められることができる。</li> <li>・点と直線の距離について理解し、その長さを求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標を考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を活用して、図形の性質について証明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	13
<p>D 円</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件をより、円の方程式を求められること。</li> <li>・円の接線の方程式が求められること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた方程式がどんな図形を表すのか、判断できるようにすること。</li> <li>・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明できるようにすること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>○ 円の方程式</li> <li>○ 円と直線</li> <li>○ 軌跡と領域</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件を用いて、円の方程式を求められることができる。</li> <li>・円の接線の方程式を求められることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた方程式がどのような図形を表すか、判断することができる。</li> <li>・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14



	定期考査					○	○		1
2 学 期	<p>D 三角関数・加法定理</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般核に対する三角関数の定義を理解させ、三角関数の値を求められるようにすること。</li> <li>三角関数のグラフについて理解させ、簡単な三角関数のグラフがかけられるようにすること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標や符号を変えたときの道化があらわす角と三角関数の値との関係が説明できるようにすること。</li> <li>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できるようにすること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標や符号を変えたときの道化があらわす角と三角関数の値との関係が説明させること。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般角と弧度法</li> <li>三角関数</li> <li>三角関数の性質</li> <li>三角関数のグラフ</li> <li>三角関数を含む方程式・不等式</li> <li>加法定理とその応用</li> <li>三角関数の合成</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般角に対する三角関数の定義を理解し、三角関数の値を求めることができる。</li> <li>三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。</li> <li>三角関数の性質や単位円、グラフなどを用いて、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</li> <li>三角関数の加法定理について理解し、与えられた三角関数の値を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標を入れかえたり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考察したり、説明したりすることができる。</li> <li>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標を入れかえたり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考えたり、説明したりしようとしている。</li> </ul>			○	○	○	14
	<p>D 指数関数・対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算ができるようにすること。</li> <li>指数関数を含む方程式や不等式が解けるようにすること。</li> <li>対数の意味と基本性質を理解させ、簡単な対数の値を計算できるようにすること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>累乗根の定義から、累乗根の基本的な性質について証明することができるようにすること。</li> <li>指数関数を用いて、数の大小を判断できるようにすること。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて考察させること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数と対数の意義を考えさせること。</li> <li>指数関数と対数関数の関係について考えようとするさせること。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数の拡張</li> <li>指数関数とそのグラフ</li> <li>対数とその性質</li> <li>対数関数とそのグラフ</li> <li>常用対数</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。</li> <li>指数関数の性質を理解し、指数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</li> <li>対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の値を計算することができる。</li> <li>常用対数の値を用いて、整数の桁数や小数の位について求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>累乗根の定義から、累乗根の基本的な性質について証明することができる。</li> <li>指数関数の性質を用いて、2つの数の大小を判断することができる。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考えようとしている。</li> </ul>			○	○	○	13
	定期考査					○	○		1

3 学 期	<p>D 微分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の定義にしたがって、関数の導関数を求められるようにすること。</li> <li>関数の導関数について計算できるようにすること。</li> <li>関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形をかけるようにすること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数のグラフから、もとのグラフの形状を考察できるようにすること。</li> <li>関数の増減やグラフを活用して、具体的な事象に関する問題を解決できるようにすること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象から導関数について考えようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導関数</li> <li>○ 導関数の計算</li> <li>○ 関数のグラフと増減</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数の定義にしたがって、関数の導関数を求めることができる。</li> <li>関数の導関数について計算することができる。</li> <li>関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形をかくことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導関数のグラフから、もとのグラフがどのような形状になるかを考察することができる。</li> <li>関数の増減やグラフを活用して、具体的な事象に関する問題を解決することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象から導関数について考えようとしている。</li> <li>導関数の定義を利用して、関数の定数倍、和及び差の導関数について簡単に求める方法を考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18
	<p>D 積分法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数の不定積分を求められるようにすること。</li> <li>定積分の値を求められるようにすること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考察させること。</li> <li>積分の考えを利用して、面積を求める方法を考察させること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積分の考えを利用して、2つの曲線の面積を求める方法を考えさせること。</li> <li>微分と積分で学んだことを、具体的な事象の考察に活用しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原始関数</li> <li>○ 定積分</li> <li>○ 面積</li> <li>・教材</li> <li>○ 東京書籍 数学Ⅱ standard</li> <li>・一人1台端末の活用</li> <li>○ 確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原始関数について理解し、関数の不定積分を求めることができる。</li> <li>定積分の性質を用いて、定積分の値を計算することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考察することができる。</li> <li>積分の考えを利用して、面積を求める方法を考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積分の考えを利用して、2つの曲線の間の面積を求める方法について考えようとしている。</li> <li>微分と積分で学んだことを、具体的な事象の考察に活用しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
							合計
							140

年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第2学年 4組~5組 (理系のみ)  
 教科担当者:  
 使用教科書: (東京書籍 数学II standard)  
 教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して考察を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	A 数列 【知識及び技能】 数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等差数列の初項から第n項までの和の求め方に興味をもち、それがnを用いて表せることを理解すること。 ・等比数列の初項から第n項までの和の求め方に興味をもち、それがnを用いて表せることを理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 等差数列について関心を深め、一般項anを初項a、公差dを使って表せることを理解すること。	・指導事項 ○ 数列 ○ 等差数列 ○ 等差数列の和 ○ 等比数列 ○ 等比数列の和 ・教材 ○ 東京書籍 数学B standard ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B いろいろな数列 【知識及び技能】 記号Σの意味と性質を理解し、自然数の累乗の和をΣを用いて表すことができること。 【思考力、判断力、表現力等】 階差数列や数列の和から一般項を求めたり、群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を表すことができること。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら階差数列や数列の和から一般項を求めるために、工夫することができること。	・指導事項 ○ 数列の和と記号Σ ○ 色々な数列 ・教材 ○ 東京書籍 数学B standard ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 【思考・判断・表現】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
C 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 ・数学的帰納法について理解させること。 【思考力、判断力、表現力等】 自然数nを用いて表された命題を、数学的帰納法を用いて証明できること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的帰納法を用いて不等式を証明しようとすること。	・指導事項 ○ 漸化式 ○ 数学的帰納法 ・教材 ○ 東京書籍 数学B standard ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 ・数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱うことができる。 ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法について理解し、等式などの証明に利用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法を用いて不等式を証明しようとする。	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>D 標本調査・確率分布</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質や抽出法、用語などについて理解させること。</li> <li>確率変数<math>aX+b</math>の平均や分散、標準偏差の性質を用いて、平均や分散などを求められること。</li> <li>確率変数の和の平均や、独立な確率変数の積の平均、和の分散を求められるようにすること。</li> <li>二項分布の確率や分散、標準偏差を求められること。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>X</math>の1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考察させること。</li> <li>独立である確率変数<math>X</math>、<math>Y</math>の積<math>XY</math>の平均と、<math>X</math>、<math>Y</math>の平均にどのような関係があるかを考察させること。</li> <li>二項分布の平均と分散がどのようになるかを考察させること。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>X</math>の1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考えさせること。</li> <li>二項分布を利用して、平均と分散がどのようになるかを考えさせること。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査</li> <li>確率分布</li> <li>確率変数の平均と分散の性質</li> <li>確率変数の和と積</li> <li>二項分布</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍 数学B standard</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質や抽出法、用語などについて理解している。</li> <li>確率変数<math>aX+b</math>の平均や分散、標準偏差の性質を用いて、平均や分散などを求めることができる。</li> <li>確率変数の和の平均や、独立な確率変数の積の平均、和の分散を求めることができる。</li> <li>二項分布の確率や分散、標準偏差を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>X</math>の1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考察することができる。</li> <li>独立である確率変数<math>X</math>、<math>Y</math>の積<math>XY</math>の平均と、<math>X</math>、<math>Y</math>の平均にどのような関係があるかを考察することができる。</li> <li>二項分布の平均と分散がどのようになるかを考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>X</math>の1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考えようとしている。</li> <li>二項分布を利用して、平均と分散がどのようになるかを考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	13	
	定期考査				○	○		1
2 学 期	<p>D 正規分布、統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連続分布について理解し、その確率を求められること。</li> <li>正規分布に従うときの確率を求められること。</li> <li>二項分布を正規分布で近似して確率を求められること。</li> <li>母集団分布を活用して母平均や母分散、母標準偏差を求めたり、標本平均の平均や分散、確率を求められること。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験の得点の分布が正規分布に従うことを利用して、生徒の人数を考察させること。</li> <li>一般の正規分布を標準化することで、標準正規分布に従うことを説明できるようにすること。</li> <li>信頼度95%の信頼区間と比較して、信頼度99%の信頼区間について考察させること。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本平均の平均と分散が、母平均や母分散とどのような関係があるかを考えようとする。</li> <li>信頼度95%の信頼区間と比較して、信頼度99%の信頼区間について考えようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正規分布</li> <li>母平均の推定</li> <li>仮説検定</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍 数学B standard</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>確認テスト、課題配信</li> </ul>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連続分布について理解し、その確率を求めることができる。</li> <li>正規分布に従うときの確率を求めることができる。</li> <li>二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。</li> <li>母集団分布を活用して母平均や母分散、母標準偏差を求めたり、標本平均の平均や分散、確率を求めたりすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験の得点の分布が正規分布に従うことを利用して、生徒の人数を考察することができる。</li> <li>一般の正規分布を標準化することで、標準正規分布に従うことを説明することができる。</li> <li>信頼度95%の信頼区間と比較して、信頼度99%の信頼区間について考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本平均の平均と分散が、母平均や母分散とどのような関係があるかを考えようとしている。</li> <li>信頼度95%の信頼区間と比較して、信頼度99%の信頼区間について考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	15	
	定期考査				○	○		1
							合計	70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（「考える物理基礎」（啓林館））  
 教科 理科

- 【知識及び技能】 基礎的な原理・法則を理解し、観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。  
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察・実験などを行い、科学的に探究する過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈、法則性の導出などの探究の方法を習得する。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動の表し方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を公式等で定量的に扱えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に物体の運動を理解しようとする姿勢を養う。	・第1部 第1章「物体の運動」	【知識・技能】 物体の基本的な運動がわかる。 【思考・判断・表現】 物体の基本的な運動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	力と運動 【知識及び技能】 物体にはたらく力と、力のつりあいを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動方程式を立てられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に力の性質や運動方程式を理解しようとする姿勢を養う。	・第1部 第2章「力と運動」	【知識・技能】 力の性質や運動の3法則がわかる。 【思考・判断・表現】 力の性質や運動方程式を理解し、物体にかかる力や物体の運動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力のはたらき方や性質に興味を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	仕事とエネルギー 【知識及び技能】 仕事や力学的エネルギーについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仕事率や仕事の原理、力学的エネルギーについて説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に仕事の性質力学的エネルギーについて理解しようとする姿勢を養う。	・第1部 第3章「仕事とエネルギー」	【知識・技能】 仕事や力学的エネルギーについて基本的な知識や実験方法を身につけている。 【思考・判断・表現】 仕事や力学的エネルギーについて基本的な計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事や力学的エネルギーがどのような意味を持つのか調べようとしている。	○	○	○	8
	熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱の変換や移動について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 公式を用いて熱の変換や移動を表現できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に熱の変換や移動について考えようとする姿勢を養う。	・第2部 第1章「熱とエネルギー」	【知識・技能】 熱や温度が何であるか理解し、正しい操作で実験ができる。 【思考・判断・表現】 熱・エネルギー・仕事を関連付けて物質の熱のやり取りを考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱運動・物理量としての熱を理解し、積極的に調べようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育  
 対象学年組：第1学年 1組～ 5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：  
 教科 保健体育

単位数： 3 単位

の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>B 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かす楽しさや心地よさを味わう</li> <li>○運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する</li> <li>○目的に適した運動の計画を立て取り組む</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に自主的に取り組む</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとする</li> <li>・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする</li> <li>・話合いに貢献しようとする</li> <li>・健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	7

<p>F剣道及び柔道 (剣道、柔道、ダンスより通年選択)</p> <p><b>【知識及び技能】</b> (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。 イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> ○ 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。 ○ 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 ※柔道 ・ <u>相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。</u> ※剣道 ・ 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・ 武道に自主的に取り組もうとしている。 ・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・ 自己の責任を果たそうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保しようとしている。</p>	<p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">○</p>	
---	---	--	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--



1 学 期	<p>C ダンス (剣道、柔道、ダンスより通年選択) 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方の変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民踊 ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう</li> <li>○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する</li> <li>○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスに自主的に取り組む</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとする</li> <li>・作品や発表などの話合いに貢献しようとする</li> <li>・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする</li> <li>・健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	○
-------------	---	---	--	---	---	---	---

<p>E球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう</li> <li>○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する</li> <li>○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する <ul style="list-style-type: none"> <li>※ゴール型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする</li> </ul> </li> <li>※ネット型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組む</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとする</li> <li>・作戦などについて話し合いに貢献しようとする</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとする</li> <li>・健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	10
<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう</li> <li>○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する</li> <li>○ 効率的に泳ぐ <ul style="list-style-type: none"> <li>※クロール <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする</li> </ul> </li> <li>※平泳ぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳に自主的に取り組む</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする</li> <li>・自己の責任を果たそうとする</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする</li> <li>・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>						

<p>F 剣道及び柔道</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。  ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。  イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>  技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。  <b>※柔道</b>  ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。  <b>※剣道</b>  ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ・武道に自主的に取り組もうとしている。  ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。  ・自己の責任を果たそうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○
<p>C ダンス</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。  ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方などで変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。  イ フォークダンスでは、日本の民踊  ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。  ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>  ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう  ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する  ○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ・ダンスに自主的に取り組む  ・互いに助け合い教え合おうとする  ・作品や発表などの話合いに貢献しようとする  ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする  ・健康・安全を確保する</p>	○	○	○

<p>予期</p>	<p><b>E球技</b>  <b>【知識及び技能】</b>  (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。  ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。  イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。  ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>  ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう  ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する  ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する  ※ゴール型  ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする  ※ネット型  ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする  ※ベースボール型  ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ・球技に自主的に取り組む  ・フェアなプレイを大切にしようとする  ・作戦などについての話し合いに貢献しようとする  ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする  ・互いに助け合い教え合おうとする  ・健康・安全を確保する</p>	○	○	○	18
	<p><b>H体育理論</b>  <b>【知識及び技能】</b>  ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。  (ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。  (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。  (ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。  (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・ワークシート記入</li> </ul>	<p>○ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する  ※ スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること  ※ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること  ※ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること  ※ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること</p>	○	○	○	4

<p>F 剣道及び柔道</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。  ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。  イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>  技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。  <b>※柔道</b>  ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。  <b>※剣道</b>  ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ・武道に自主的に取り組もうとしている。  ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。  ・自己の責任を果たそうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○
<p>C ダンス</p> <p><b>【知識及び技能】</b>  (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。  ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方などで変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。  イ フォークダンスでは、日本の民踊  ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。  ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b>  ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう  ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する  ○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>  表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ・ダンスに自主的に取り組む  ・互いに助け合い教え合おうとする  ・作品や発表などの話合いに貢献しようとする  ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする  ・健康・安全を確保する</p>	○	○	○

<p>C 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】  (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  ア長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。  【思考力、判断力、表現力等】  (2) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】  (3) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう</li> <li>○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する</li> <li>○ 各種目特有の技能を身に付ける</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に自主的に取り組む</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする</li> <li>・自己の責任を果たそうとする</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする</li> <li>・健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	8		
<p>球技</p> <p>【知識及び技能】  (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。  ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。  イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。  ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。  【思考力、判断力、表現力等】  (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】  (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・個人ワーク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・学習カード記入</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう</li> <li>○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する</li> <li>○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する</li> <li>※ゴール型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする</li> </ul> </li> <li>※ネット型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする</li> </ul> </li> <li>※ベースボール型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする</li> </ul> </li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組む</li> <li>・フェアなプレイを大切にしようとする</li> <li>・作戦などについての話し合いに貢献しようとする</li> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとする</li> <li>・健康・安全を確保する</li> </ul>	○	○	○	6	合計	105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（「現代高等保健体育」（大修館））

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>(7) 健康の考え方 【知識】 ㊦ 国民の健康課題 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。その際、がん、生活習慣病、感染症、精神疾患及び少子高齢社会における健康課題等があることについて触れるようにする。また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解できるようにする。</p> <p>㊧ 健康の考え方と成り立ち 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できるようにする。このことを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解できるようにする。それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解できるようにする。</p> <p>㊨ 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。また、適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できるようにする。その際、適切な意思決定や行動選択を行うには、十分に情報を集め、思考・判断すること、行動に当たっては自分なりの計画・評価を行うこと、及び社会的な影響に適切に対処することなどが重要であることについても触れるようにする。健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることを理解できるようにする。また、一人一人が健康に関心をもち、健康に関する適切な環境づくりに関わっていくことが必要であることにも触れるようにする。なお、ウの内容は、「保健」の内容全体に関わるものであ 「思考・判断・表現力等」 ・現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見すること。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理すること。</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (7) 健康の考え方 ・国民の健康課題 ・主体と環境の相互作用 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	6



	<p>(イ) 現代の感染症とその予防 【知識】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用すること。</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (イ) 現代の感染症とその予防 ・個人の取組及び社会的な対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	
2 学 期	<p>(ロ) 生活習慣病などの予防と回復 【知識】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会対策を整理すること。</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (ロ) 生活習慣病などの予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活 ・疾病の早期発見及び社会的な対策 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	7

<p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>【知識】</p> <p>⑦ 喫煙、飲酒と健康  喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。その際、周囲の人々や胎児への影響などにも触れるようにする。また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。その際、好奇心、自分自身を大切にす気持ちの低下、周囲の人々の行動、マスメディアの影響、ニコチンやエチルアルコールの薬理作用などが、喫煙や飲酒の開始や継続の要因となることにも適宜触れるようにする。</p> <p>⑧ 薬物乱用と健康  コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。その際、危険ドラッグの問題があることにも適宜触れるようにする。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。その際、薬物乱用の開始の背景には、自分の体を大切にす気持ちや社会の規範を守る意識の低下、周囲の人々からの誘い、断りにくい人間関係、インターネットを含む薬物を手に入れやすい環境などがあることにも適宜触れるようにする。</p> <p>「思考・判断・表現」  ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価すること。</p>	<p>・指導事項  ・学習プリント</p>	<p>【知識】</p> <p>ア 現代社会と健康について理解を深めること</p> <p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康  ・個人や社会環境への対策</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	
---	---------------------------	---	----------	----------	----------	--

(ホ) 精神疾患の予防と回復

㊦ 精神疾患の特徴

精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。また、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹り患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解できるようにする。その際、アルコール、薬物などの物質への依存症に加えて、ギャンブル等への過剰な参加は習慣化すると嗜癖行動になる危険性があり、日常生活にも悪影響を及ぼすことに触れるようにする。

㊧ 精神疾患への対処

精神疾患の予防と回復には、身体  
の健康と同じく、適切な運動、食  
事、休養及び睡眠など、調和のとれ  
た生活を実践すること、早期に心身  
の不調に気付くこと、心身に起こっ  
た反応については体ほぐしの運動な  
どのリラクセーションの方法で  
ストレスを緩和することなどが重要  
であることを理解できるようにす  
る。また、心身の不調時には、不  
安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神  
活動の変化が、通常時より強く、持  
続的に生じること、心身の不調の早  
期発見と治療や支援の早期の開始に  
よって回復可能性が高まることを理  
解できるようにする。その際、自殺  
の背景にはうつ病をはじめとする精  
神疾患が存在することもあることを  
理解し、できるだけ早期に専門家に  
援助を求めることが有効であること  
にも触れるようにする。さらに、  
人々が精神疾患について正しく理解  
するとともに、専門家への相談や早  
期の治療などを受けやすい社会環境  
を整えることが重要であること、偏  
見や差別の対象ではないことなどを  
理解できるようにする。

【思考・判断・表現】

・精神疾患の予防と回復について、  
習得した知識を基に、心身の健康を  
保ち、不調に早く気付くために必要  
な個人の取組や社会的な対策を整理  
すること。

- ・指導事項
- ・学習プリント

【知識】

ア 現代社会と健康について理解を深めること

(オ) 精神疾患の予防と回復

- ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活
- ・疾病の早期発見及び社会的な対策

【思考・判断・表現】

イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。

○ ○ ○

<p>3 学 期</p>	<p>(7) 安全な社会づくり  <b>【知識・技能】</b>      ㊦ 事故の現状と発生要因      事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、      事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解できるようにする。      ㊧ 安全な社会の形成      事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。      その際、乳幼児、高齢者、障害者、妊婦などの安全には、特に支援が必要な場合があることに触れるようにする。      ㊨ 交通安全      交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解できるようにする。その際、将来、二輪車及び自動車などの運転者として、交通社会の一員となることもあることを考慮し、運転者としての責任、加害事故の防止や事故発生時の適切な対処が必要であるという視点を重視する。  <b>【思考・判断・表現】</b>      ・安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。      ・安全な社会づくりにについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用すること。      ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価すること。</p>	<p>・指導事項          ・学習プリント</p>	<p><b>【知識】</b>          ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。          (7) 安全な社会づくり          ・環境の整備と個人の取組  <b>【思考・判断・表現】</b>          イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>7</p>
----------------------	--	-----------------------------------	--	----------	----------	----------	----------

<p>(イ) 応急手当  <b>【知識及び技能】</b>  ① 応急手当の意義  適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制を適切に利用することが必要であることを理解できるようにする。  ② 日常的な応急手当  日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。  ③ 心肺蘇生法  心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AED などを用いて心肺蘇生法ができるようにする。その際、複数人数で対処することがより有効であること、胸骨圧迫を優先することについて触れるようにする。なお、指導に当たっては、呼吸器系及び循環器系の機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。また、「体育」における水泳などとの関連を図り、指導の効果を高めるよう配慮するものとする。  <b>【思考・判断・表現】</b>  ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に应用すること。</p>	<p>・指導事項  ・学習プリント</p>	<p><b>【知識】</b>  ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。  (イ) 応急手当  ・傷害や疾病の悪化の軽減  ・正しい手順や方法  ・応急手当の速やかな実施  <b>【思考・判断・表現】</b>  イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p> <p>計</p> <p>35</p>
---	---------------------------	---	----------	----------	----------	-----------------------------

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術（音楽） 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術（音楽）

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：MUOSA1

教科 芸術（音楽）

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	時 配 当	
		歌	器	創	賞鑑						
A 歌唱 【知識及び技能】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。	・指導事項 ・小さな空	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりが理解できる。	○			10	
	A 器楽 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。	・指導事項 ・きらきら星		○			【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりが理解できる。		○	10	
	A 鑑賞 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。	・指導事項 ・サウンドオブミュージック				○	【学びに向かう力、人間性等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値が理解できる。			○	6
2 学 期	A 歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などができる。	・指導事項 ・野ばら	○				【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○		○	14
	A 器楽 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりが理解できる。	・指導事項 ・キーボード		○			【思考力、判断力、表現力等】 表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。		○		14
3 学 期	A 創作 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができる。	・指導事項 ・楽典			○		【知識及び技能】 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。	○		○	10
	A 鑑賞 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解できる。	・指導事項 ・天使にラブソングを				○	【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりが理解できる。				6
										○	合計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科: 芸術 科目: 美術Ⅱ 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第2学年 1組～5組  
 教科担当者:  
 使用教科書: (「高校生の美術Ⅱ」(日本文教出版))

教科 芸術 の目標: 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造的に表す技能を育む。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方を育む。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。主体的に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情、豊かな感性を育む。

科目 美術Ⅱ の目標: 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時
		形	色	映					
オリエンテーション/自画像 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○			作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること	○	○	○	2
紙の特性を生かして伝える 【知識及び技能】 目的や機能に基づいて、材料や技法などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考え、制作の見通しをもって主題を追求して創造的に表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 紙の特性とグリーディングカードの目的、機能や用途と造形的な美しさとの調和を考え、主題を生成し、表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 紙の特性を生かして、何気ない日常を彩るカードをデザインすることに興味を持ち、主体的に主題を生成し、造形要素の働きを考え、制作の見通しをもって構想を練り表現している。	・教科書作品を、紙の特性の活かし方、形や色の工夫の観点などから鑑賞し、分析し、それぞれの作品に使われている紙の特性と表現の工夫について理解する。 ・紙の特性を考えながら、場面や贈る相手を考え、アイデアを練る。 ・折る、切る、貼る、穴を開ける、紙の種類を考えるなど、場面に合わせて工夫をする。 ・伝えたい内容と相手に合わせてアイデアを決め、紙の特性を生かしたカードを制作する。 ・自らの制作過程を振り返り、対象に伝えるための表現の工夫について分析する。 ・他者の作品を鑑賞し、対象に伝えるための表現の工夫について考察する。	○			作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること	○	○	○	6
1 学 期 文化祭ポスター 【知識及び技能】 意図に応じてアクリルガッシュの技法や特性を生かし、計画や手順を吟味して見通しをもって表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭のテーマや参考資料を基に感性や想像力を働かせて主題を生成し、表現形式の特性、形や色などの造形要素の働きを考えて創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ポスターによる伝達の表現に関心を持ち、表現効果を工夫して構想を練り、見通しをもって表現する。	・教科書の参考作品を鑑賞し、イラスト、文字(キャッチコピー)の配置や配色など、ポスターを構成する要素とその効果について考える。 ・文化祭のテーマを基に全体構想を練る。 ・複数のアイデアスケッチの中から、アイデア複合したり絞ったりし、より詳細なアイデアスケッチを作成。 ・レタリングレイアウト ・下描き ・配色計画、彩色 ・完成したポスターを相互に鑑賞する。	○			作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること	○	○	○	10

	<p>生物を空想して表す</p> <p>【知識及び技能】 想像力を豊かに働かせ、主題に合った表現方法を追求し、試行錯誤しながら創意工夫して想像的に表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 想像する生き物の能力や性格、生息場所などを設定して主題を生成し、形態や色彩などを工夫して想像的な表現の構想を練る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 想像した生き物を表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、表現を創意工夫したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の参考作品を鑑賞し、作者が想像した生き物の能力や性格、生息場所など、独自性や表現の工夫について読み取る。</li> <li>・空想の生き物を発想、構想する。</li> <li>・アイデアスケッチを描く。</li> <li>・想像した生き物をはにわねんどで立体に表す。</li> <li>・完成した作品を相互に鑑賞する。</li> </ul>	○	○		<p>作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること</p>	○	○	○	8
2 学期	<p>油彩画</p> <p>【知識及び技能】 油絵具という材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性や効果を生かしながら、形体、色彩、質感、空間などを表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 対象をしっかり観察して、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し表現しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 油絵具という材料や用具の特性や効果を主体的に生かし、表現方法を模索しながら主題を追求して表現しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手をよく観察し、そのよさや美しさ、不思議さや面白さを再発見し、描きたいポーズを探し出す。</li> <li>・いろいろな方向や角度から手を観察し、スケッチしながら手の魅力を表すための構図を考え、表し方の構図を練る。</li> <li>・スケッチを基に手をよく観察しながら下描きをする。</li> <li>・油絵具の特性を生かして形や色、陰影などを効果的に表すための構想を練る。</li> <li>・自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。</li> <li>・他社の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。</li> </ul>	○	○		<p>作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること</p>	○	○	○	14
	<p>年賀状(木版画)</p> <p>【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、創意工夫し、主題を追求している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 版画という技法によって表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、構想を練ったり、主題を追求して表現しようとしていたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書作品等を参考に、版画の種類と特性を理解するとともに、木版画の特性やよさについて理解する。</li> <li>・下絵を作成する。</li> <li>・トレーシングペーパーに下絵を写す。</li> <li>・写した下絵を版木に裏返して置き、カーボン紙を挟んで転写する。</li> <li>・彫刻刀で彫る。</li> <li>・刷りの準備をする。</li> <li>・版木に絵具をつけ、パレンで力を入れて刷る。</li> <li>・完成した作品を互いに鑑賞しあう。</li> </ul>	○	○		<p>作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること</p>	○	○	○	14



3 学 期	すてきなキメラ(紙版画) 【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、創意工夫し、主題を追求している。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 版画という技法によって表現することに興味を持ち、主体的に主題を生成し、構想を練ったり、主題を追求して表現しようとしていたりしている。	・教科書作品等を参考に、版画の種類と特性を理解するとともに、木版画の特性やよさについて理解する。 ・画用紙で版を制作する。 ・刷りの準備をする。 ・版に絵具をつけ、パレンで力を入れて刷る。 ・完成した作品を互いに鑑賞しあう。	○			作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること	○	○	○	6
	2点透視による平面構成 【知識及び技能】 透視図の技法を用いて形を表現する。色の組み合わせで伝えたいデザインを表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の作品のテーマを自由に設け、そのテーマを表現するために形や色の特徴をとらえて発送することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 透視図を作図した上に自分の意図したデザインや形を表現することに関心をもち、制作している。	・参考作品から課題の意図と制作手順を理解する。 ・透視図で立方体や直方体、三角柱などの作図をする。 ・基本的な明暗のルールを決めて、配色計画を立てる。明暗は向きを決めて統一する。互いの形で影を落とすことはしない。 ・丁寧に平塗りをする。はみ出しや汚れはホワイトで修正して完成させる。 ・互いの作品を鑑賞する。自他の作品について特徴をまとめ講評する。	○	○		作品に完成度、密度が感じられること。課題ごとに示される目標が満たされていること。実習を休まないこと、熱意を持って取り組み、提出期限を守ること	○	○	○	10
合計										70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

芸術

科目 書道Ⅱ

教科：芸術

科目：書道Ⅱ

単位数：2 単位 2

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（「書Ⅱ」（教育図書））

教科 芸術

の目標：資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ

の目標：書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 数 時
		漢	漢	仮						
<p>隷書の学習</p> <p>【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。</p>	<p>・書道用具、教科書、副教材 ・乙瑛碑の臨書</p> <p>隷書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。</p>	○			○	【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。</p>	○	○	○	13
<p>篆書の学習</p> <p>【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。</p>	<p>・書道用具、教科書、副教材 ・泰山刻石の臨書</p> <p>篆書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。姓名印を作る</p> <p>篆刻学習を通し、落款の大切さも理解させる。</p>	○			○	【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。</p>	○	○	○	13







年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科：家庭 科目：家庭総合 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（実教出版 家庭総合）  
 教科 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
家庭科を学ぶにあたって	オリエンテーション ・「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。					1	
第1章 これからの人生について考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 【知識及び技能】 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	【知識・技能】 ・自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通して考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。		○	○	○	3
2節 これからの人生をデザインする 【知識及び技能】 ・人生設計に必要な要素を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	【知識・技能】 ・自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 【思考・判断・表現】 ・自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。		○	○		2
第7章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 【学びに向かう力、人間性等】 ・人はなぜ衣服を着るのか理解する。 ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。				○	3
6節 衣服をつくろう 【知識及び技能】 ・エプロン製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・洋服と和服の違いを考える。 ・日常着を製作する。エプロン製作実習。	【知識・技能】 ・エプロン製作実習を通して、基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、簡単な日常着の作成ができる。 【思考・判断・表現】 ・作品にしゅうを施すことにより、自分らしさを表現することができる。 ・作成した衣服の着装などにおいて、自分らしく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エプロン製作実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。		○	○	○	6
2節 衣服の素材の種類と特徴 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・衣服の加工技術について理解する。	・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・暮らしの中での衣服素材の性能と改善について学ぶ。	【知識・技能】 ・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 ・衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。		○	○		2

3節 衣服の選択から管理まで 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。	・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。	【知識・技能】 ・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。 【思考・判断・表現】 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。	○	○		2
4節 持続可能な衣生活をつくる 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する。	・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができることを考える。	【知識・技能】 ・不要となった衣類について、リサイクルに回す、つくりかえるなど、実生活において実践することができる。 【思考・判断・表現】 ・現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。	○	○		4
5節 私たちがつなぐ衣生活の文化 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・日本の和服をどのように継承していくか考える。 ・浴衣の着つけについて学ぶ。	【知識・技能】 ・和服の着装や布地について理解するとともに、和服を活用した衣文化の伝承には、どのようなものがあるかを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・日本の伝統文化である和服に関心を持ち、浴衣の着つけに意欲的に取り組んでいる。	○		○	2
期末考査			○	○	○	1
第6章 食生活をつくる 1節 人と食物のかかわり 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事の意義を理解する。 ・日本の食文化形成および和食の特徴を理解する。	・気候風土や宗教による食生活の違いを学ぶ。 ・世界の食について調べ、その多様性を学ぶ。 ・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。	【知識・技能】 ・各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに、日本の食文化の特徴について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて、書籍や家族などから情報を収集して調査内容をまとめることができる。	○	○		4
2節 私たちの食生活 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活をはぐむための気づきや工夫を理解する。	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。	【知識・技能】 ・食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 【思考・判断・表現】 ・食文化や自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○		○	4
3節 栄養と食品のかかわり 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	【知識・技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。	○		○	6
4節 食品の選び方と安全 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・季節ごとに旬の食材があることを理解する。 ・表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。 ・食品を見分け、よりよい選択ができるようにする。 ・食中毒に対する予防法を理解する	・旬の食材を考え、旬の時期がなぜよいか学ぶ。 ・食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。	【知識・技能】 ・旬の食材には何があるか、なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 ・食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。	○			2
5節 食事の計画と調理 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族の食生活の計画と管理ができるようになる。 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 ・年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。	・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、家族の献立作成を行う。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	【知識・技能】 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。 ・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりに向けての判断ができる。 ・調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	○	○	○	9
6節 これからの食生活を考える 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・日本の食糧事情を解決するためにできることを見つける。 ・情報に惑わされことなく安全な食品を選択できるようにする。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。	・食品の自給率や食に関する環境問題について考える。 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。 ・日本の食料自給率の現状と課題について考える。	【思考・判断・表現】 ・現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。			○	2
期末考査			○	○	○	1

3 学 期	第9章 消費行動を考える 1節 消費行動と意思決定 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。	【知識・技能】 ・さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 ・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	2
	2節 消費生活の現状と課題 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。	・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。	【知識・技能】 ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	○	○		4
	3節 消費者の権利と責任 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。	・消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。	【知識・技能】 ・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 【思考・判断・表現】 ・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考えることができる。	○	○		2
	4節 ライフスタイルと環境 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。	・日常生活が地球環境やグローバル社会に与える影響について考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。	【知識・技能】 ・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができる。 ・環境に関するグラフなどから、生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	○	○		2
	第10章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭経済と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 ・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。	【知識・技能】 ・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 ・現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期的経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	2節 将来のライフプランニング 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。	・将来のライフイベントや起こり得るリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	【知識・技能】 ・経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。	○	○		2

学年末考査

○ ○ ○

1

合計  
70



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間 単位数：1 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～5組  
 教科担当者：  
 使用教科書：（ ）  
 教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題発見と課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、フィールドワーク等を活用し情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、地域の未来を考えようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学期	「総合的な探究」を学ぶにあたって	オリエンテーション ・「総合的な探究」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。					1
	<b>地域の未来について考える①</b> 【知識及び技能】 ・未来を定義することで、将来のイメージ像を鮮明にする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域の将来について、多角的な視点から考える。 ・地域貢献のために、自分たちに何ができるかを考える。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の考えや思いを、相手に伝わりやすく発信しようとする。 ・地域の将来について考え、他の地域と比較しようとする。	・自分の将来について予想する。 ・未来を定義する。 ・定義した未来をもとに「足立区」の未来を予想し、問いを立てる。 ・問いにおける課題を挙げ、他の地域と比較をする。 ・問いに対する課題を解決するために、フィールドワークに行く。	【知識・技能】 ・自分や周囲・地域の状況を分析し、問いを立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・地域の実情からその地域の未来について、多角的に考えることができる。 ・実社会や実生活と自己の関わりから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域の将来を考えるにあたり、フィールドワークを行い、新たな課題を発見しようとする。	○	○	○	12
2 学期	<b>地域の未来について考える②</b> 【知識及び技能】 ・地域の未来がより良くなるためには、何が必要か分かる。 ・地域の未来を考えるために、文献などを用いて調査できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができる。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えようとする。	・フィールドワークや文献などの調査結果をパワーポイントにまとめる。 ・中間発表を行い、改善策を見つける。 ・学年発表を通して、地域の未来について考える。	【知識・技能】 ・自分や周囲・地域の状況を分析し、問いを立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・地域の実情からその地域の未来について、多角的に考えることができる。 ・実社会や実生活と自己のかかわりから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域の将来について考え、自分の考えや思いを相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	7
	自分の進路を考える① 【知識・技能】 ・自分の希望職種の現状を調べることができる。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望職種の現状から、より良くするための案を考えようとする。	・自分の希望進路を明確にする。 ・希望進路における職業の未来について考える。 ・希望職種の現状を調べる。 ・進路選択の仕方を知る。	【知識・技能】 ・自分の希望職種の現状が分かる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・希望職種の未来について予想し、現状において何ができるか考え、発表しようとする。	○		○	7
3 学期	自分の進路を考える② 【知識・技能】 ・希望進路の学問における課題を見つけることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・希望進路の学問における課題を多角的な視点から考えることができる。  【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望進路の学問における課題を見出し、解決策を考えようとする。	・希望進路における学問の実態を調べる。 ・希望職種の未来について考え、今の自分たちには何ができるか考える。	【知識・技能】 ・希望進路における学問の現状が分かる。 【思考力、表現力、判断力】 希望進路の学問・職種における課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・希望進路における学問・職種について考え、自分の考えや思いを相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	8
							合計